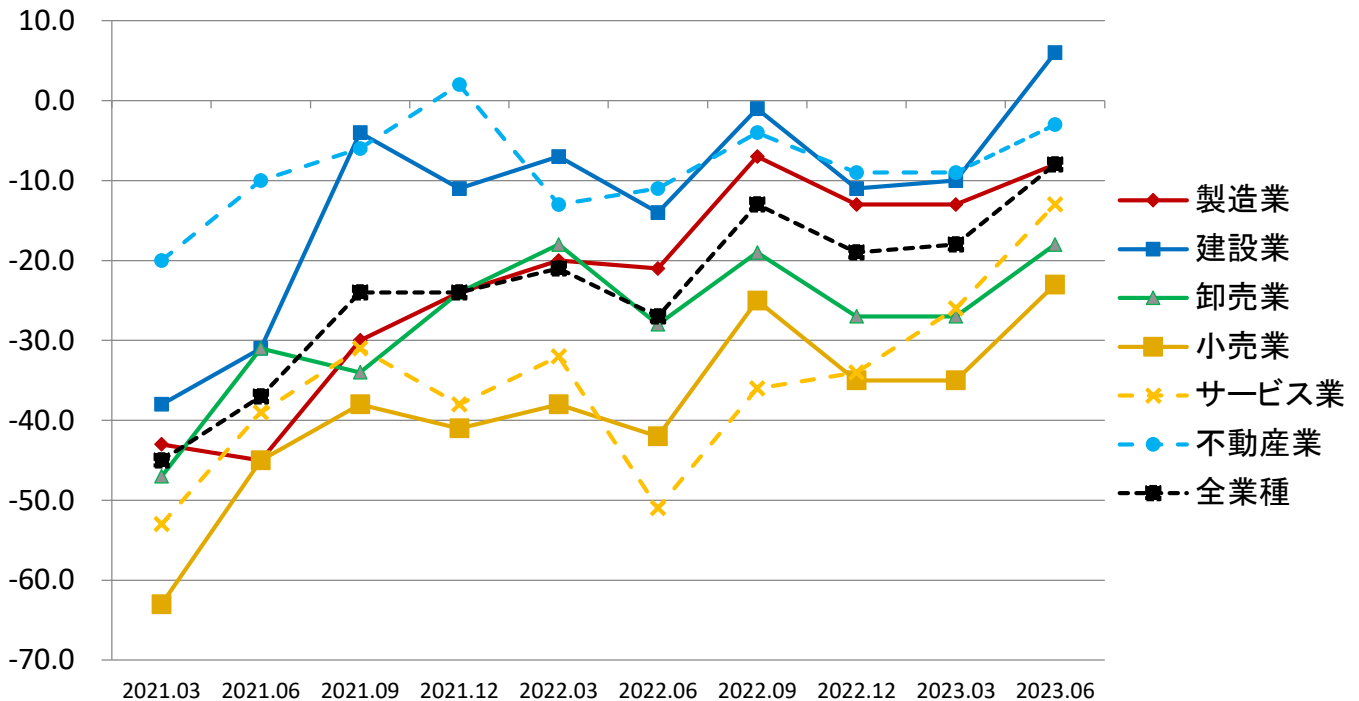


福生市商工会 経営だより

1. 多摩地域の小規模企業業種別業況判断DIの推移



※製造業・建設業は19人以下を、卸売業・小売業・サービス業は4人以下を小規模企業としています。
出典：多摩信用金庫 多摩けいざい No.105

2. 業況判断DIの分析

2023年の6月期は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行するなど、経済活動の正常化に向けた動きが進んでおり、景況感は若干の改善が見られます。

一方で、物価上昇によるコストの増加や人手不足による人件費の増加が景況感を下押しする要因となっています。

業種別に業況判断DIをみると、建設業:16ポイント、サービス業:13ポイント、小売業:12ポイント、卸売業:9ポイント、製造業:5ポイントと全ての業種で改善が見られました。全業種でも10ポイントの改善となりました。特に建設業では6ポイントと業況判断DIが全業種の中で唯一マイナスからプラスに転じました。

3. 中小企業診断士の一言

3年間の中止を経て7月8日、9日に「福生七夕まつり」が盛大に開催されました。久々の七夕まつりを楽しんだ方も多かったのではないのでしょうか。ポストコロナでは、キャッシュレス決済など、接触を避けつつも利便性を高める取り組み促進や、リモートワークや時差出勤などの、密を避けるための新しい働き方の広がり、人工知能と言われるAIの活用推進等の変化がみられます。ポストコロナの事業運営について商工会の相談会を活用して、いち早く変化に対応してみたいはいかがでしょうか。

4. 主要業界のトレンド

【全体】

ウェザーニュースの夏の暑さの見通しでは今年の夏(7月から9月)の気温は全国的に平均より高く、暑い夏になり、特に8月に暑さのピークを迎えるようです。暑さによる事業の停滞や生産性低下を防いでいきましょう。

【製造業】

工場や倉庫は熱がこもりやすく、夏場は40°Cから50°Cになることも珍しくありません。気温上昇による工場や倉庫の電気設備機器の故障や、商品劣化を防ぐため、屋根や窓、ドアなどに遮熱材の利用を検討しましょう。遮熱材は工場や倉庫の温度を下げ、電気設備機器の故障や、商品劣化を防止以外にもエアコン使用料金を減らし電気代の節約の効果があります。

【サービス業】

厨房で料理人が着る作業着であるコックコートは火を使うことを前提に製造されているため、耐火性や耐熱性に優れている一方で、通気性が悪いことが特徴です。暑い厨房内でコックコートで作業をし続けると熱中症のリスクがあります。吸汗速乾性の高いインナーシャツや、麻などを使用しているコックコートを選びましょう。ハンズフリーでパンツの腰の位置に設置する扇風機(ファン)などもあります。これらを上手に利用して衣類内部の熱を逃がしましょう。

【小売業】

カテゴリーは異なるが、関連性や使用する場面にあわせた陳列を行い、ついで買いを促進する販売手法があります。例えば、お酒の販売棚におつまみのお菓子を陳列して、ついで買いを促すような販売手法です。タオル売場や夏服売場に冷感スプレーを陳列することや、バーベキュー用のお肉売場にうちわや扇子を陳列することなどを、夏のついで買い促進を考えてみましょう。

【建設業】

一人親方の場合、労災保険の加入義務はありません。しかし、業務の実態や災害を受ける可能性が他の職種に比べて高いため、国は一人親方に対して特別に労災保険の加入を認めています。労災保険に加入していると、もし仕事中に熱中症になってしまっても、労災保険の対象になる可能性が高いです。治療費や、休業、後遺症が残った場合の補償などを受けることが可能となります。暑さの厳しい現場業務が多い場合、労災保険の特別加入を検討しましょう。加入条件については、一度、商工会にご相談ください。

5. 小さな企業の新たな取組みのためのヒント

今年の10月よりインボイス制度(適格請求書保存方式)が開始されます。インボイス制度開始にあたり、1年間の課税売上高が1,000万円以下の消費税申告義務のない免税事業者は、免税事業者のままとするか、課税事業者となるかの判断が必要となります。一般的には100%非課税売上や、100%消費者向けの取引を行う免税事業者以外は、インボイス登録するべきと考えられます。経理処理の負担や金銭的な損失のリスクがあるインボイス制度ですが、納税額を売上税額の2割に軽減する措置があるなど、負担や損失を最小にする余地はあります。インボイス制度開始前に、制度について商工会に相談してみてもいいでしょうか。